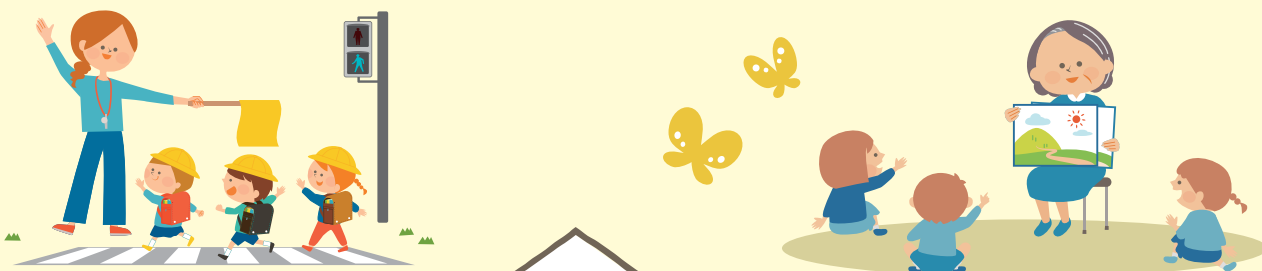


児童委員活動の 手引き49集

児童委員および主任児童委員の
基礎知識と知っておきたい委員活動のQ&A



社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国民生委員児童委員連合会

目

次

児童委員活動の 手引き49集

児童委員および主任児童委員の基礎知識と知っておきたい委員活動の Q & A

はじめに	1
第1章 児童委員、主任児童委員の基礎知識	2
第2章 事例編 児童委員、主任児童委員の取り組み	10
実践① 孤立した子育て家庭への支援	10
実践② 外国人親子への支援	12
実践③ 孤立防止に向けた地域の子育て支援	14
実践④ 学校・教育現場との連携・協働	16
第3章 こんな時どうする？児童委員・主任児童委員活動の Q & A	18
Q1 日ごろの活動のなかで、孤立しがちで支援が必要な子どもや子育て世帯をどのように見つけて、声をかければいいのでしょうか？	18
Q2 行政からの要請で養育状況が気になる子育て家庭を訪問しました。今後、継続的にかかわるうえでのポイントを教えてください。	19
Q3 地域住民の状況確認の結果を依頼元の行政に報告しなければいけません。関係機関との情報共有における留意点があれば教えてください。	20
Q4 担当区域の住民から「子どもの泣き声が頻繁に聞こえる。虐待の可能性ある」と相談があった場合、どのように対応すればいいのでしょうか？	21
Q5 今年度より主任児童委員になり、会長から学校等の外部機関と地区担当委員とのつなぎ役を担ってほしいと頼まれました。外部機関との関係づくりにおけるポイントは何ですか？	22
Q6 児童委員と主任児童委員の活動や役割の範囲が不明確です。地域のなかでお互いが連携・協力して活動するうえで、留意すべきことを教えてください。	23
Q7 区域担当の児童委員から学校と情報交換がより密に行える関係を築けるようにしてほしいとお願いされました。どのようなことを意識すればいいのでしょうか？	24
Q8 児童委員および主任児童委員活動の認知度を高め、他団体や地域住民に活動内容を正しく理解してもらうためには、どのような広報・啓発活動が有効ですか？	25
第4章 参考資料	26
1. 全民児連『制度創設 30 年を経た主任児童委員のさらなる活動推進に向けて(最終報告)』の概要	26
2. 学校等の教育機関との連携推進にむけた具体的な方策の整理	28
3. 知っておきたい相談機関一覧	30
4. 委員活動に関する法令、資料	32

民生委員信条、児童憲章

はじめに

少子化が急速に進行するなか、わが国の子どもや子育て家庭を取り巻く環境は、かつてないほど大きく変化しています。核家族化や地域社会における人間関係の希薄化は、子育ての孤立化を招き、児童虐待や不登校、子どもの貧困、ヤングケアラー等の課題は、複雑かつ多様化しています。

こうしたなか、国は「こどもまんなか社会」の実現を掲げ、こども家庭庁を中心に、すべての子ども・若者が健やかに成長できる社会づくりに向けた施策を強力に推進しようとしています。そして、それらの施策を実効性あるものとしていくうえで、制度や支援の狭間にいる子どもたちや子育て家庭の小さなサインに気づき、寄り添い、必要な支援へとつなぐ「身近なおとな」として、民生委員・児童委員の役割はかつてないほど重要性を増しています。

また、子どもの問題には、多くの場合、家庭の問題が背景にあります。児童委員が民生委員を兼務することで、子どもだけでなく、家族全体の課題を包括的に把握し、世代を超えた切れ目のない継続的な支援につなげることが可能となります。そのため、児童福祉に関する事項を専門的に担当する主任児童委員と民生委員・児童委員とが、連携を密にして支援していくことが求められます。

昨年（令和7年）12月には、民生委員・児童委員の一斉改選が行われました。長きにわたり地域福祉に貢献され退任された方がたの志を受け継ぎ、新たに多くの方がたが委員としての第一歩を踏み出されました。また、再任された皆さまにおかれましても、新たな決意をもって活動に臨まれていることと存じます。今回の『児童委員活動の手引き49集』は、この一斉改選という大きな節目を捉え、新任の委員はもとより、すべての児童委員、主任児童委員の皆様が自信をもって活動できるよう、基礎的な知識と実践のヒントをわかりやすく整理することを主眼に作成しました。

本書の構成にあたっては、まず「基礎知識」として、児童委員・主任児童委員それぞれの役割や活動の基本を平易に解説しています。また、活動を始めたばかりの方が抱きやすい不安や疑問に答える「Q&A」や、孤立した子育て家庭への支援、外国にルーツを持つ親子への対応、学校との連携など、具体的な場面を想定した「事例紹介」を充実させています。

地域の子どもたちが笑顔で過ごせる社会をめざして、皆様が日々の活動において直面する悩みや課題に対し、本書が一つの拠り所となり、各地域での創意工夫あふれる取り組みの一助となることを心より願っております。

終わりに、本書の作成にあたり多大なるご尽力をいただきました、社会福祉法人至誠学舎立川の高橋久雄理事、聖隷クリストファー大学の泉谷朋子准教授、児童福祉活動推進部会委員の皆さまに、深く感謝申し上げます。

令和8年2月

全国民生委員児童委員連合会
会長 得能金市